

令和6年度 講座実施報告書

1 概要

講座の名称	女性相談担当者支援研修（第1回）				
講座の目的	女性の相談は、家族や夫婦、子育て、DVや性被害、モラル・ハラスメントなど、複雑多岐にわたる。そこで相談者の気持ちをくみとり、女性のエンパワメントを支援できるように基礎的知識や技術の習得、相談の質の向上を図るため、この研修を実施する。				
募集対象	県・市町村で女性相談に携わる行政職員、相談員等				
定員人数	40名	申込人数	31名	当日参加人数	30名
申込方法	ながの電子申請サービス				
託児	（募集なし）				
回数	1回				
開催場所	おかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ） 大会議室				
日時	5月16日（木） 10:00～15:00				
講師	高山 直子 さん（カウンセリング&サポートサービスNカウンセラー）				
開催内容	<p>講義 <午前の部>カウンセリング理論の基本を相談対応に活かす <午後の部>エンパワメントにつなげる支援に必要な意識とスキル</p> <p>内容 ①ディスカッション ② 安心感・安全感を与えるアプローチ ③カウンセリング理論の基本 ④二次被害が及ぼす影響 ⑤ 意識化につなげるワーク：相談対応のロールプレイ ⑥ 支援に関する詩から学ぶ</p>				
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な例を示して下さるため、非常に理解しやすかった。 ・ワークロールプレイがあったことで、具体的な対応について知ることが出来たり考えることが出来て大変勉強になった。 ・相談者自身が言語化し判断することの大切さを知りました。 ・相談員として知識に傾きかけていたことに気づく機会になりました。ジャッジ（裁判官）ではなく伴走者として頑張りたいです。 ・気付かされる事も多く、またすぐに実践できることばかりだったので、とてもよかったです。 ・同情と共感の違い、アドバイスと情報提供の違い、今まで良く考えず対応していました。本当に本当に、勉強になりました。 				



高山講師



会場の様子（講義）



会場の様子（グループワーク）